

こどもホタルレンジャー2018

活動レポート

水環境保全賞

① 団体名 (学校、企業、NGO/NPO など)	よみがな まつやまちょうないにほたるをふつつさせるかい 松山町内にホタルを復活させる会
③ 活動名 (タイトル)	よみがな ほたるをそだててふつつさせよう！ ホタルを育てて復活させよう！第12号
④ 活動場所 (様子や環境など)	秋田県由利本荘市岩谷町字松山(森林の中に貯水池がありそこから田んぼに通じる用水路がありその中の1本目をホタルを復活させる場所として護岸の嵩上げ作業を実施し、水路の水流を穏やかにするために砂利を敷きところどころに大きな石を置いて水生生物が住みやすいように環境を整備しました。活動を開始した頃は大雨でホタルの餌であるカワニナが流されてホタルが全く飛ばなくなっていました。ところが昨年のもときはすぐ水路を観察に行ってみたところ、カワニナは大きく育って、水路の上流の泥の中に潜っていました！！次に用水路の脇の道路には広葉樹を植樹して水路に木陰ができるように整備しました。12年目の今年は木々が5m位まで成長し葉も茂り花々もきれいに咲くようになりました。最初はホタルが全く飛んでいませんでしたが、環境を整備しホタルの幼虫とカワニナを放流した結果、毎年ゲンジボタルが沢山飛ぶようになりました！！この場所を「松山Ⅰ」と呼んでいます。この用水路の隣は田んぼを辞めた空き地になっており、一部は畑として活用されています。次に岩谷麓に近い貯水池の前は田んぼと畑として活用されており、管理する方がいて、定期的に水が流されています。そのお陰でカワニナが沢山育っています。この場所では6月中旬から7月上旬まではゲンジボタルが飛びかい、7月中旬までは田んぼでヘイケボタルが群舞します！！この場所を「松山Ⅱ」と呼んでいます。この用水路の隣の森林を水質改善のために、持ち主の許可を得て森林整備することにして、定期的に草刈りや枝切り、枯れた樹の伐採等を実施しています。3年間森林整備した結果2017年4月にはキクザキイチゲとカタクリ等が群生するようになり感動しています。「癒やしの森」と名付けました。)
⑤ 活動したこどもの人数・学年	(就学前 2人) 小学1年生 6人、2年生 7人、3年生 5人、4年生 4人、5年生 6人、6年生 4人、中学2年生 1人、高校1年生 2人
⑥ 活動継続年数	2007年 4月3日～2018年 12月21日 上記の期間に 418 回実施した。

⑦ 活動グループ (学校・企業・NGO/NPO など) の紹介 (400字程度以内で簡潔に)

秋田県由利本荘市岩谷町字松山には 41 年前に多くのホタルが飛んでいました。しかし用水路をコンクリートに直した

時からぱたっと飛ばなくなっていました。ところが12年前の新年会で「最近山沿いの家の側溝にホタルが少し飛んでくるよ!」という話を聞き、青年部の皆さんが子供会に働きかけてくれて「松山」にホタルを復活させよう!という気運が持ち上がりました。平成19年4月3日に総会を開き「松山町内にホタルを復活させる会」を設立しました。小学校の子供会と就学前の子どもと保護者が会員になってくれて佐々木春樹会長を中心に82名で活動を開始しました。「むつみ造園」の三浦顕児さんと本荘由利森林組合の小野達也さんの指導を受けながら、ホタルの住みやすい環境作りのために、環境整備・環境調査・森林整備・ホタルの飼育・カワニナの飼育等をスポ少の活動の無い日時を選んで12年間活動を続けてきました。

活動の概要 (600字程度以内で簡潔に)

2018年はホタルレンジャーの活動報告書の作成から始まりました。2月26日に「審査員特別賞」に選ばれた電話を受けて忙しく準備し発表会と授賞式に参列し、親子で喜びをかみしめることができました。帰郷後、小学校と松山町内に報告ができました。子供会全員でメダルと賞状を持って記念写真が撮れたことと、全校生徒の前で発表が出来て、多くのみんなから感想を伝えてもらったことが嬉しかったです。今年度の活動は4月15日の「カタクリのモニタリング」から始まりました。昨年何も無かった場所にカタクリが広がっていて、森林整備の効果を実感しました。森林整備は6回実施しました。5回目はスギの太さと高さを測りました。今後の成長を見るのが楽しみです。ホタルの観察会は6月17日から7月21日まで約1ヶ月実施しました。今年は田んぼのヘイケボタルが多く観察できました。7月10日に親子35人で観察できたのが嬉しかったです。環境調査会では水路に置いた大きな石の裏側からきれいな水に棲んでいるトビケラを沢山発見出来たことと、水路の脇の草の中でもきれいな水のあるところに棲んでいますイトトンボを発見出来たことがとても嬉しかったです。カワニナも多く観察出来ました!それでもホタルを増やしたいため、沢山育っている場所から譲ってもらったカワニナを松山Iの上流に1500匹放流しました!!用水路の中でホタルの幼虫が育っていると思います。来年の6月が楽しみです。

※この用紙には、活動した子どもたちの先生や団体の代表（おとな）が記入してください。

※受賞団体の活動報告書等は、環境省のホームページへの掲載等、広報活動に活用させていただきます。

⑧ 活動の目標を記入してください。(300字程度以内で簡潔に)

1. 地域に若い世代の住民が増加し子どもがたくさん育っています。折角若い世代が集まっているので、昔の様にホタルが飛び交い家族でホタルに触れ合える地域にしたい!
2. 森林を整備してホタルが育ち易い水路に改善することと、これまで4年間の森林整備によって、キクザキイチゲ、カタクリ、スミレ、ワスレナグサ等が群生し、ドングリやクリの木も大きく育ってきたので、さらに隣接している森林の整備を計画的に実施することによって、自然が豊かな区域を増加して、「癒やしの森」を地域住民だけでなく多くの皆さんに楽しんでもらえる「森」として活用できるようにしていきたい!
3. ホタルの発生状況や森林の様子を「松山町内にホタルを復活させる会」のブログ、matsuyama_hotaruで紹介し、多くの皆さんがホタルに触れる機会を作っていきたい!!
4. 「ホタルを復活させる場所」は105号線のすぐ側なので、多くの皆さんが気軽に観察し、ホタルに触れ合える場所であると確信しています。

⑨ 活動の内容や調べたことを記入してください。写真やイラストなども添付してください。(2000 字程度以内で簡潔に)

2017年度は私たちにとってとても幸せな年でした！

環境省主催「子どもホタレンジャー活動報告書」が「審査員特別賞」に選ばれて、3月10日に授賞式と発表会に参列してきました！



2018. 3. 28先生たちの離任式の後で松山交流センターに集合して子供会のメンバー全員メダルと賞状を持って写真を撮りました！！



これまで活動してきたメンバーと発表者

動機と目的

- ・私たちは12年前からこの活動を続けています。

活動を始めたきっかけは町内の新年会で「最近また家の流しにホタルが出てきたよ！」という話題が出たことです。

- ・おじいちゃん、おばあちゃんたちが松山に家を建てた

41年前は、ホタルが松山の町内にも山沿いにも、いっぱい飛んでいました。

- ・側溝をコンクリートにしてからホタルが飛ばなくなりました。

- ・それでも側溝にこけが生え始めて少しずつ飛ぶようになりました！)

・私たちは昔のように、松山にホタルがいっぱい飛ぶようになって欲しいし、その環境を未来に残していきたいと思いました。

今年度の活動を紹介します！

1. これまでの活動から、ホタルが育つには水とカワニナが絶対に必要なことが分かりました！
2. 水を確保するためには、樹が必要なので森林整備を計画しました！昨年の9月の発表会の後で4回、今年は6回実施しました！
3. カワニナが大雨や日照りで少なくなってしまったので、4年前から沢山育っている場所から採集させてもらって、松山に放流しています！
4. 環境が整っているかどうかを確認するために、環境整備と環境調査を実施しました！
5. ホタルの発生状況を確認するために6月17日から7月21日まで約1ヶ月間、週に2～3回調査しました！
6. 地域の皆さんにホタルに触れてもらいたくて、ブログで紹介しました！

松山町内にホタルを復活させる会 matsuyama_hotaru

森林整備とその成果

昨年は発表会の後で4回森林整備を実施しました！

9月24日は大人の人たちと真坂涼君が、これまで整備していなかった杉林の草刈をしました！



10月29日は前回草刈をした61小班の杉林のモニタリングしました！



11月19日は刈り払い機とチェーンソーの講習会を実施しました！



(2018年3月26日) 第5回森林整備

2018. 4. 10「癒やしの森」のカタクリ等の観察

杉林を抜けると、すぐにキクザキイチゲが歓迎してくれました！



26～28年度に整備した場所のカタクリが沢山育って広がっていました！

29年度にモニタリングした62小班の杉林と63小班の広葉樹の間にもカタクリの発生が見受けられて頼もしかった！

帰り道キクザキイチゲの水色と丸太橋の下のカタクリを見ながら、階段の脇の斜面にキクザキイチゲの白が群生している姿と、カタクリの発生とスミレの可憐な姿を観察しました！



2018. 4. 15第1回森林整備

63小班カタクリのモニタリング

雨模様でしたが、三浦さんと菊池照義さんと伊藤広美の3人で作業しました！まず5m*5mの区画を設定しました！その後カタクリの花が咲いている数を数えました！（2回、二人で）
昨年草刈して整備したときに 0 だったのですが36本育っていました！



周りにも葉っぱや花が咲いていたので、来年また増加するのが楽しみです！！
区画の中の折れた枝と倒れた木を片付けました！



2018. 6. 21第2回森林整備

65小班杉林の下刈り



今回は全員草刈作業に徹しました！昭三郎さんはチェーンソーで作業しました！



入口に倒れていた杉を片付けやすいようにきってくれました！

誠さんは67小班的の灌木を整備してくれました！



今日の作業員です！



昭三郎さんは倒れた杉を整備してくれました！

高1の佐々木詩織さんが刈り取った草を熊手で集めてくれました！

2018. 7. 22第3回森林整備

62, 63小班的の草刈と65小班杉林の下刈り



前回整備した通路が明るくなって歩きやすかったです！

丸太橋を渡って62, 63小班に入って草刈を開始しました！

最初に6 2小班の草刈をしました！



私たちは刈り取った草と杉の葉を熊手で集めました！

次に6 3小班の草刈をしました！



さらに未完成だった6 5小班の草刈と木の間伐をしました！



整備して明るくなった林で記念撮影しました！



2018. 10. 21第4回森林整備

刈払機の使用法の確認とこれまで整備した場所の総仕上げ



松山交流センターの入口の広場で三浦顯児さんの指導を受けながら、刈払機の使用法について確認して準備しました！

刈払機とチェーンソーを全員持参して、28年度までに整備した66小班、64小班そして29年度から整備している67小班、65小班、62小班、63小班、61小班的草刈り、枯れた樹の刈払いと間伐しました！！刈り払った樹は少し小さくして、何カ所かにまとめました！！

作業後の写真です！



62小班です！

63小班です！

周りの木の一部分がナラ枯れになっていました！



手前が63小班、奥が62小班です！



この2枚は61小班です。
モニタリングした縄が切れていました！

各小班の刈り払いした木と間伐した木の一部です！



2018. 11. 17 第5回森林整備 61小班の木の混み具合調査

小野達也さんの指導を受けながら胸高直径と樹高を調査しました！

10m * 10mの区画を支柱に沿って明確に縄で張りました！

小野さんが樹木にナンバリング (D460~D476) し終わってから区画内外の草刈をしました！



61小班が広がったので奥の樹高の高くて
細い区画をNo.2として調査しました！

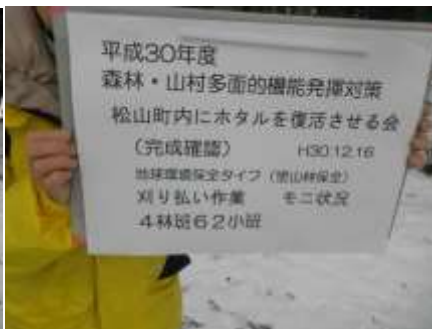
整備してから記念撮影しました！

カメラマンは小野さんです！土曜日なので
若い人たちは仕事があって作業に参加出来
ませんでした！



2018. 12. 16 第6回森林整備；平成30年度作業状況調査

本部の清水さんが作業状況確認にいらっしゃいました！



みんなで現場へ行って作業状況を確認してもらいました！ 62小班杉林

63小班広葉樹（カタクリ）



61小班 {杉林} No1



61小班 (杉林) No.2



61小班NO.2は樹木が混んでいて樹高が高かった！日当たりが悪いためと思われる！来年は間伐したいと思いました！！



今日は作業員全員勢揃いでした！！子どもたちはスポ少があって参加できませんでした！

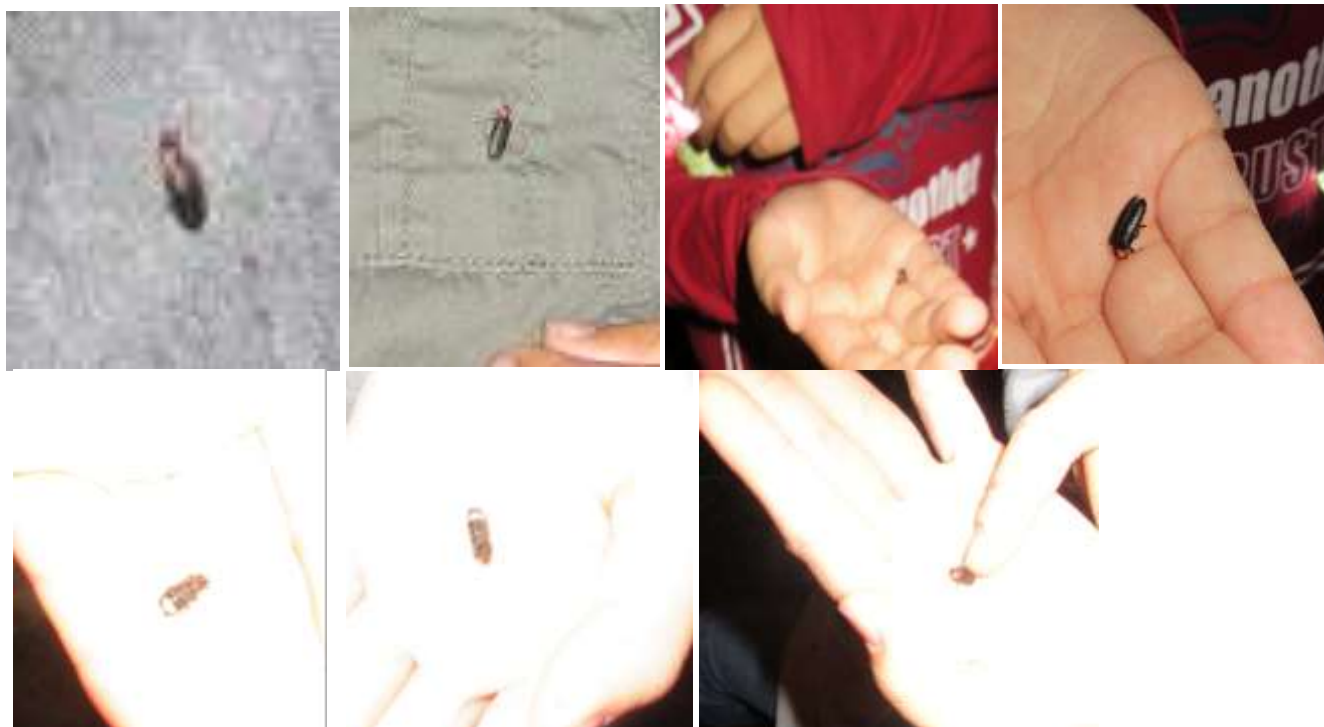
ホタル観察会

6月17日から7月21日まで約1ヶ月間、週に2～3回ずつホタルを観察しました！一部について紹介します！

[2017.7.10 ホタルを42匹観察しました！](#) 飛んでいたのは22匹でした！侑俐さんと涼羽さんは記録員でした！

みんなが観察したホタルを見てください！





2017.7.21 ホタルを10匹観察しました！飛んでいたのは1匹でした！



8時に先生を迎えに行って観察地点に出発しました！今日の記録は私〔杏香里〕です！松山Ⅰの入り口の側溝でまず気温、水温、湿度を測定しました！28℃、25℃、69%でした！

松山Ⅰの手前の畑の上をゲンジボタルが1匹飛びながら迎えに来てくれました！ⅠとⅡの間の草の上にゲンジが留まって光っていました！私たちは大興奮でした！！松山Ⅱに入ってから弟の旺汰が留まっているゲンジを捕まえました！旺都はお母さんと一緒に捕まえていました！



松山Ⅱではみんなで一生懸命探して、ゲンジ3匹とヘイケ5匹発見出来ました！

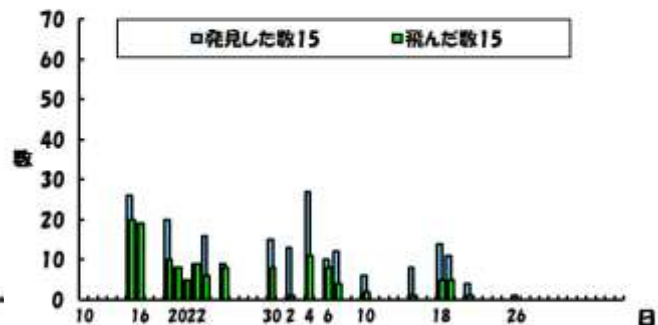
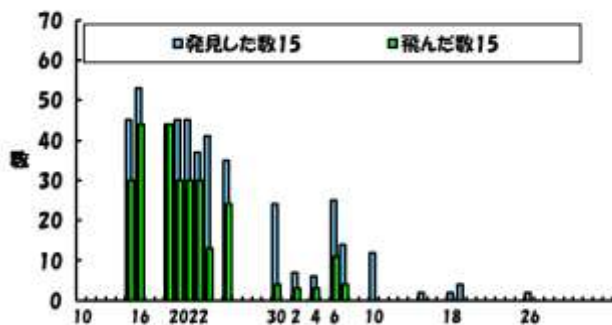
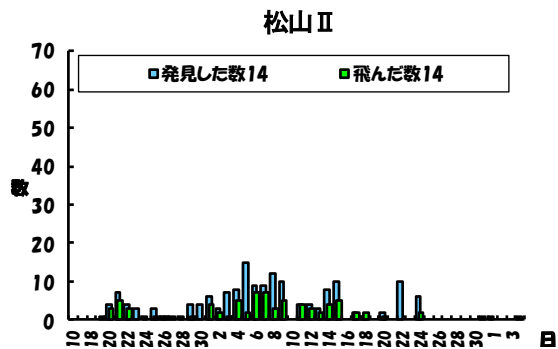
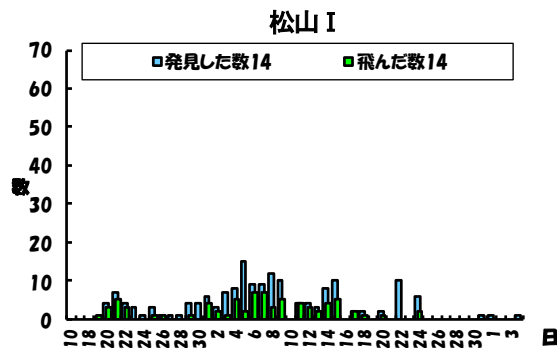
弟たちが調査の手伝いしてくれました！旺都は水温、旺汰は気温と湿度を測ってくれました！私は記録しました！それぞれ、24℃、29℃、69%でした！

「先生から聞いたら、いつもより少ないとのことでした。それでも一生懸命ホタルを探して、10匹も見つけることが出来て嬉しかったです。またやりたいなと思いました。」

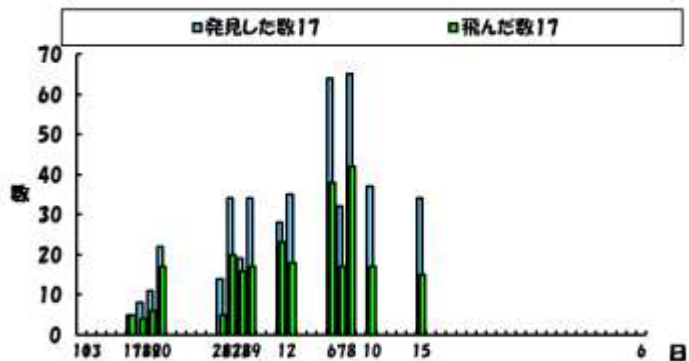
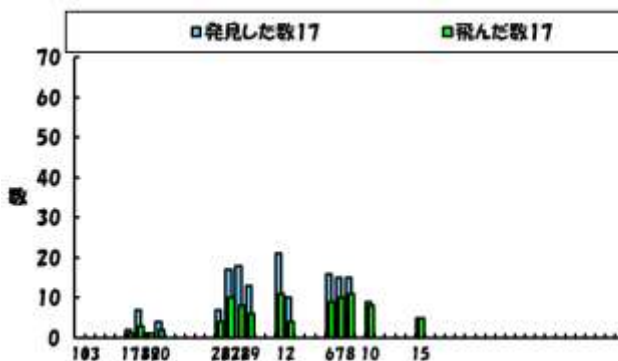
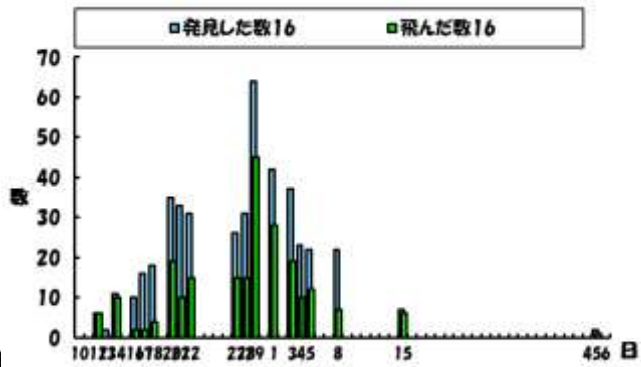
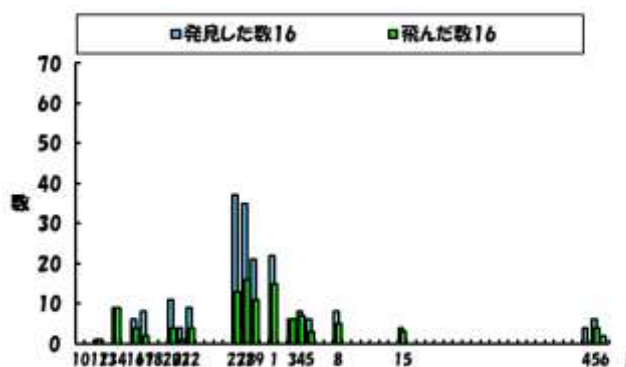


今日の観察者は私の家族（お母さん、旺汰、旺都）と凜空君とおばあちゃんと先生でした！

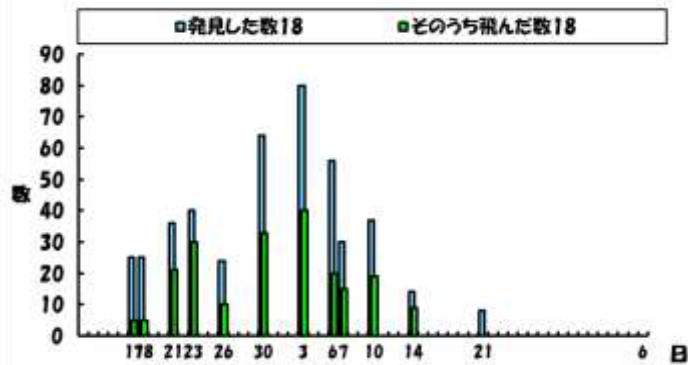
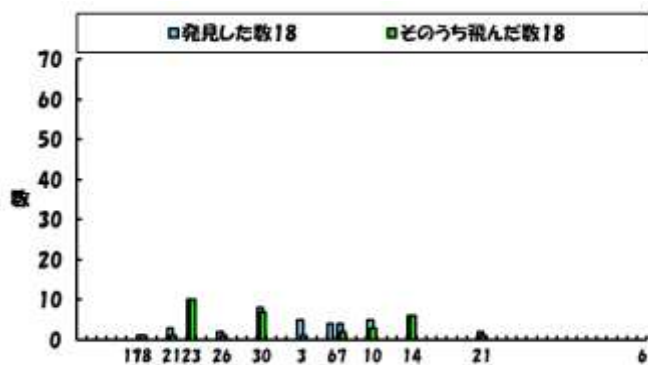
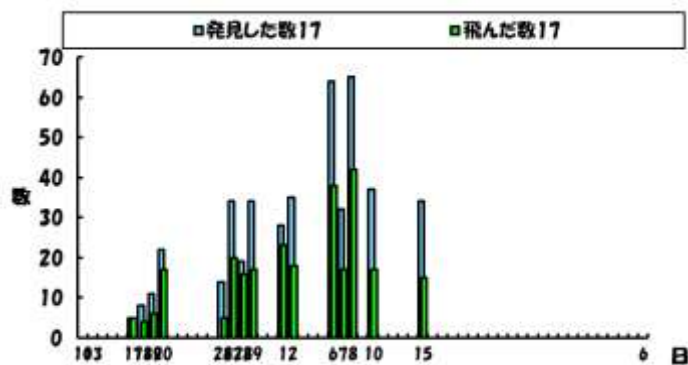
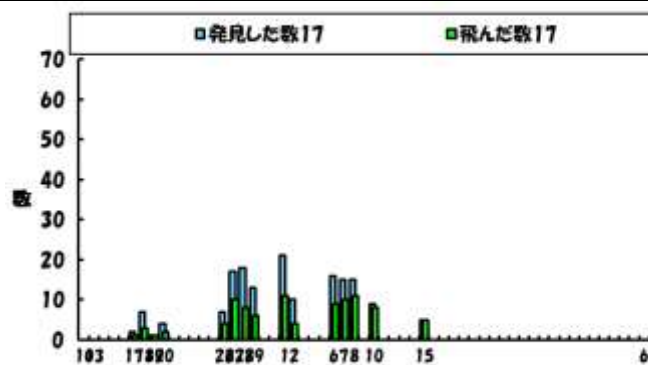
2014~2018 ホタルの数の変化



このグラフから分かるように、松山Ⅰのホタルは2015年の10日間は今までで一番多く飛んでいます！！
これは前の年にカワニナを約1000匹放流したことの効果が一番だったと思います！！



2017年のホタルは松山Ⅰで、ここ5年間で二番目に少なかったです！これはユリの温室が4棟に増えたことと前年カワニナを放流しなかったことが大きく影響していると思います！昨年はカワニナを1000匹以上放流したので、ホタルの幼虫を育ててくれていると思います！松山Ⅱでは7月6～8日にヘイケが田んぼの周りで大量に発生してとてもきれいでした！！森林整備の成果が徐々に現れていると思います！



2018年のホタルは松山Ⅰで、ここ5年間で一番少なかったです！去年はカワニナを1000匹以上放流したのでホタルの幼虫を育ててくれていると思っていたのでとても残念でした！これはユリの温室が4棟に増えた他に畑にも物置が建ったことと春に側溝の泥上げをしなかったことが大きく影響していると思います！松山Ⅱでは7月3日にヘイケが田んぼの周りで大量に発生してとてもきれいでした！！ヤマザクラの枝に留まったゲンジもイルミネーションのようでした！！

(環境調査とカワニナの放流)

9. 1 第1回環境調査会&カワニナの放流を実施しました！



気温と水温を測定してからみんなでパックテストを使って水質を調べました！

(pH と COD (化学的酸素要求量) で水が汚れているかどうかを調べて記録しました！)

次に網を使って水路の中をさらって水生生物を調べました！(網ですくった砂利の中から動いている生物を探して種類毎に発砲スチロールのトレーに入れて調べました！)



菊地照義さんが一緒にⅠとⅡの間ですくった網の中の生物を探してくれました！

今年もお父さんが一緒に調査してくれました！！



松山Ⅰの下流は雨の後だったせいか
水がきれいで底の砂利がはっきり見えました！



用水路に入れておいた石を裏返して見ると
生物が沢山育っていてびっくりしました！

以前佐藤栄子先生が教えて下さったことを思い出しました！！



松山Ⅱの下流の側溝ではカワニナが
苔を食べた跡がはっきり分かりました！

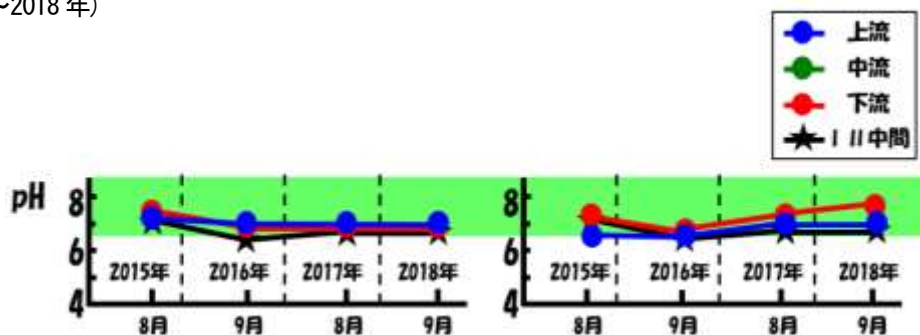


松山Ⅰの下流の草むらでイトトンボを捕まえました！
水がきれいな証拠なので嬉しかったです！！

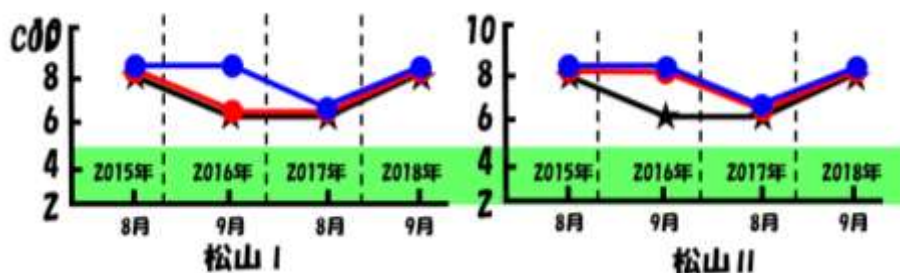


松山Ⅱの調査地点の近くの、看板の前で記念撮影しました！

数値の推移 (2015～2018 年)



pH からわかることはどちらもきれいだということです！



COD からわかることはどちらも少し汚れているということです！

水生生物調査結果

松山 I 下流



きれいな水にいる
トビケラ 7 匹



少しきれいな水にいる
カワニナ 9 匹



きたない水にいる
ヨコエビ 4 5 匹



きたない水にいる
コツブムシ 5 0 匹



大変きたない水にいる
アメリカザリガニ 1 匹

松山 I 上流



カワニナ 7 匹



ドブガイ 2 匹



ヨコエビ 1 匹



コツブムシ 1 匹

I と II の間



カワニナ 7 匹



ドブガイ 1 匹



アメリカザリガニ 1 匹

松山Ⅱ下流



カワニナ 23匹



コオイムシ 2匹
トウヨシノボリ 1匹



ツチガエル 1匹



ドジョウ 11匹

松山Ⅱ上流



ヘビトンボ 1匹



コオイムシ 2匹



ヤゴ 4匹



ツチガエル 5匹



カワニナ 30匹



スジエビ 17匹



ドジョウ 13匹



トウヨシノボリ 12匹

カワニナの放流



近くの用水路で捕獲したカワニナ 150匹を750匹ずつ分けて「ホタルを育ててね!」とお願いしながら松山Ⅰの上流に放流しました!!

私が今日一番嬉しかったことは松山Ⅱの上流にスジエビが約20匹いたことです。あと、カワニナも30匹以上いたことです。理由はスジエビもカワニナも少しきれ

いな水に棲んでいる生き物だからです。あと、カワニナはホタルのえさだからです。もっとカワニナを増やしてホタルを増やしていきたいと思いました!!

まとめ

1. 今年は昨年にはかないませんでしたが、ホタルが毎日飛んでいました。特に松山Ⅱの田んぼではここ4年間で一番多くのヘイケボタルが観察できました!
2. ホタルを増やすためには、毎年環境整備(草刈りと側溝の泥上げ等)していることと、水の流れを良くするために、森林整備していることが少しずつ効果を上げていると思います。環境調査から生物の種類も数も増加していることが分かりました。特にきれいな水にすんでいる生物を観察出来るのがとても嬉しいです!
3. 大雨とか日照りなどの天候不順には抵抗できません。でも今年も大雨に負けずにカワニナが育っていて嬉しかったです!!これからもカワニナの放流とか、ホタルを育てる等の対策を考えて、地域にホタルを増やしていきたいと思っています!

※活動した子どもたちの意見・考えを取りまとめた、先生や団体の代表が記入してください。

⑩ 活動で工夫したこと・気づいたことなどを記入してください。(800 字程度以内で簡潔に)

1. ホタルの光がみえなくなるのでカメラのフラッシュをやめたらいいと思う。1年 琥生
2. きれいな水のあるところにいた。1年 壘揮
3. かんさつしたら、またにがしてあげる。やさしく手にのせてみる。1年 由奈
4. ホタルをいっぱいみつけました。1年 伶太
5. 松山にホタルがいなかったけどホタルがいました。ホタルは何月ごろから活動しているのだろうか？3年 凜空
6. 工夫したことは、ライトを全体に当ててしまうとホタルの光が見えなくなってしまうので気を付けて歩いたりするのを工夫しました。気づいたことはたいていのホタルは葉っぱの上にいることが分かりました。4年 優輝
7. ホタルの種類は2種類しかいないことが分かった。ホタルを見られる季節がかがざられている。水のきれいなところしか育たない。4年 太史
8. ホタルが育ちやすい環境をつくるために活動していました。5年 侑俐
9. 毎年、違う場所などを整備していたから、つづけたほうがいい。5年 杏香里
10. 環境調査で水生生物を捕るときに、あみを底にあてて、底にいる生き物も捕れる」ようにゴソゴソと動かしながらあみでとったことです。あと、あみで撮った生物をどろをよせながら小さい生物なども捕ったことです。5年 優寧
11. 水からなおすために森林整備をおこなったり、水質調査をおこなったりしていた。6年 涼羽
12. 工夫したことは、水の温度や気温を測って、今どういう状況かを調べることです。気づいたことは、年々ホタルがふえているとぼくは思います。6年 剛優

⑪ 活動からわかった課題、自分たち「こどもホタルレンジャー」にできることを記入してください。

(800 字程度以内で簡潔に)

1. ホタルのすんでいるところにゴミとかカンをすてない。1年 琥生
2. ポイ捨てはしない。ゴミを見つけたらひろう。1年 悠里
3. 水をよごさないようにする。1年 壘揮
4. ホタルを見に行き、ホタルをみつけて、かんさつしてホタルがたくさんみられるように、なつになったら、また子どもホタルレンジャーとしてみにいきます。まえにみつけたホタルのかずとまたなつに行き、みつけたホタルのかずで、へったのか、ふえたのかくらべて、考えようと思います。1年 由奈
5. ホタルはライトをけせばかんたんにみつけけることがわかった。1年 伶太
6. ホタルがいっぱい現れる様なきれいな環境を心がける。〔ゴミをすてない等〕1年 空
7. ホタルはきれいな水にしか生きられないのでゴミなどをすてたら死んじゃうかもしれないのでゴミひろいをしたいと思います。3年 凜空
8. 自分たちは「こどもホタルレンジャー」なのでホタルをふやせるようにエサや生息地をよくするようにしたいです。4年 優輝
9. ホタルを大切にするために、ゴミを山や川に捨てたりしないで、自分が住んでいる地域をきれいにしたい。4年 太史
10. 岩谷の自然環境をよくするための取り組みを行うとよいと思います。5年 侑俐
11. 活動する前に予想を立てることをすればいいと思う。理由は理科」は実験する前に予想を立て、結果を知り、分かるから。だから活動する前に予想をしたほうがいいと思った。5年 杏香里
12. カワニナを増やす。川〔側溝〕をきれいにする。森をきれいにする。5年 優寧
13. これからの社会にできるだけホタルを残して沢山の人にホタルを見てもらえる様にする。ホタルが暮らしやすい環境をつくること、また保つこと。6年 涼羽
14. できることは、森林や川の生き物を調べて、ホタルが棲みやすい環境を作っていくことです。分かった課題はホタルはどのようなところにいるのかがわかった。6年 剛優

※活動した子どもたちの意見・考えを取りまとめて、先生や団体の代表が記入してください。

⑫ 活動して「気がついたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に記入してください。
写真や絵などでもOKです。

(例) ・活動を始めたきっかけ ・どんなことに興味を持ったか ・やってみようと思ったこと
・感じたことやおもしろかったこと ・大人と一緒に改善していきたいこと など

1. ホタルのおしりに光が光ってて、おもしろかったです。1年 琥生
2. ホタルでライトをつくりたい。1年 悠里
3. ホタルのおしりがきらきらひかっておもしろかった。1年 壘揮
4. おうちのちかくで、ホタルがみられることをして、よるになったら、みんなでみにいけることがおもしろいです。ホタルがいっぱいいておもしろかった。1年 由奈
5. ホタルをさわるのがおもしろかった。1年 伶太
6. ゲンジボタルとヘイケボタル」のひかるはやさがちがうことをはじめてしりました。1年 空
7. ①活動を始めたきっかけはたくさんのホタルを見つけてみたかった。②気づいたこと、教えてもらったことは、ホタルの光がわからなくなるので、観察するときにライトをあてすぎない。ホタルにも種類がある。ゆっくり光るのがゲンジボタル、チカチカ光るのはヘイケボタル。どっちのホタルなのか？言い当てる：のが楽しかった。水が流れる所にホタルがたくさんいた。松山のホタルは草にもとまるが、地面にもとまっていた。③感想：たくさんのホタルを見つけることができて楽しかった。2年 杏太 {母}
ぼくは虫が好きなのでホタルに興味をもちました。おもしろいと思ったことは、ホタルはかつてに光を放つのがおもしろいと思いました。4年 優輝
8. ホタルを観てみたいから参加しました。どんな場所にホタルがいるか、考えながらホタルを探しました。真っ暗な中をキレイに光っているのを観て、喜ぶ弟が印象的でした。4年 太史
9. 活動をして、カワニナにとってのてきも、カワニナのすむ場所にいるので、できるだけ敵のアメリカザリガニやヒルなども、とりのぞき、さらにカワニナが増え、ホタルが増えてほしいです。5年 侑俐
10. ホタルをさがすのに興味をもった。なぜなら、たんけんのようにとても楽しかったから。ホタルレンジャーを続けて欲しい。5年 杏香里
11. 私が活動して楽しかったことは、環境調査です。水生生物をとるときに、いろんな生物がいて、「こんな生き物もあるんだ」と思うことがあります。水生生物のなかには、きれいな水に棲んでいる生き物もいます。それが側溝にいと嬉しいです。あと、カワニナはホタルのエサなのでたくさんいると、うれしいです。水質調査でパックテストをやっているときに、時間がたつと、色が変わって、見本の色とどの色が似ているのかを観るのが、とっても楽しいです。これから、カワニナを増やし、ホタルをもっと増やしていきたいと思いました。5年 優寧
12. 活動を始めたきっかけは地域にホタルがいるということを聞いて、私も観てみたいという気持ちです。
感じたことは、みんなホタルを大事に思っていて、みんな残して行きたいんだなと感じました。6年 涼羽
13. きっかけはホタルはどういう生物なのかが気になったからです。おもしろかったことは、夜にホタルが何匹いるかを調べたときです。大人と一緒に改善していきたいのは、もっと森林をきれいにしたり、川をきれいにしたりすることです。6年 剛優

※活動した子どもたちが自身が記入してください。